

サービス概要

▼ 債権情報照会(開示)

No.	取引名	内容
1	債権情報照会	<ul style="list-style-type: none"> 発生および保有している債権の記録事項・提供情報の照会(開示)をします。 一括予約照会(非同期)の請求結果ファイル(CSV形式/共通フォーマット形式)をダウンロードします。

▼ 記録請求

No.	取引名	内容
1	債権発生請求(債務者請求)	<ul style="list-style-type: none"> 債務者として債権の発生記録(発生予約)を行います。 債務者として予約中の発生記録請求の取消を行います。 債権者として受領した債権の取消を行います。(発生日を含む5営業日以内)または、予約中の発生記録請求の取消を行います。
2	債権発生請求(債権者請求)	<ul style="list-style-type: none"> 債権者として債権の発生記録(発生予約)を行います。(相手方からの承諾回答が必要) 債権者として予約中の発生記録請求の取消を行います。
3	債権譲渡請求	<ul style="list-style-type: none"> 保有する債権の譲渡記録・分割記録を行います。 譲渡人として予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 譲受人として譲り受けた債権の取消を行います。(譲渡日を含む5営業日以内)または、予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 分割記録は譲渡記録と一体として取り扱うことができ、分割記録単独での請求は行えません。 債権譲渡請求には原則として、保証(保証記録)がつきます。なお、オプションにより保証をつけない債権譲渡請求も可能です。*
4	債権一括請求	<ul style="list-style-type: none"> 一括して記録請求を行うためのファイルを登録します。(一括請求が可能な記録は、発生記録(債務者請求)、発生記録(債権者請求)、譲渡記録・分割記録) 登録したファイルの請求結果を照会します。

▼ 融資申込

No.	取引名	内容
1	割引申込	金融機関に債権の割引を申し込みます。
2	譲渡担保申込	金融機関に債権の譲渡担保を申し込みます。
3	照会	融資申込状況を照会します。

▼ その他請求

No.	取引名	内容
1	変更記録	債権の削除または記録内容の変更を行います。(相手方からの承諾回答が必要)
2	保証記録	債権者として債権に対する保証記録を依頼します。(相手方からの承諾回答が必要)
3	支払等記録	<ul style="list-style-type: none"> 口座間送金決済以外で利用者間の決済を行った場合に、支払等記録を行います。 支払等記録請求には、支払を行ったことによる記録請求と、支払を受けたことによる記録請求があります。(支払を行ったことによる記録請求の場合、相手方からの承諾回答が必要)

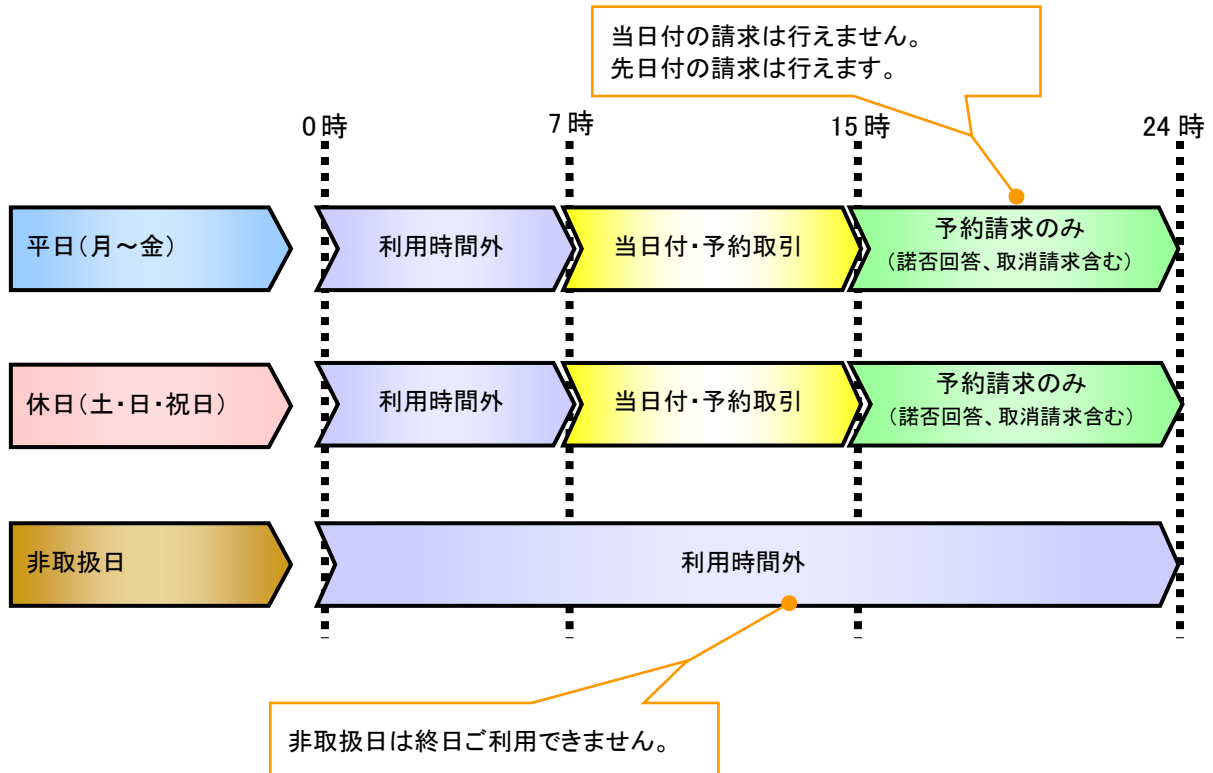
▼ 管理業務

No.	取引名	内容
1	取引履歴照会	過去の取引を照会します。
2	操作履歴照会	<ul style="list-style-type: none"> 操作履歴を照会します。 操作履歴ファイル(CSV形式)をダウンロードします。
3	指定許可管理	取引を許可する取引先制限について登録/変更/解除を行います。
4	取引先管理	取引先の登録/変更/削除/照会を行います。
5	利用者情報照会	利用者情報を照会します。
6	ユーザ情報管理	ユーザ情報の変更/更新/照会/承認パスワード変更/登録/解除、及び、メールアドレス変更を行います。

サービス時間

1. ご利用可能時間について※1

取扱区分	利用時間帯
取扱日	平日(月～金)と休日(土・日・祝日)
平日(月～金)	7:00～24:00
休日(土・日・祝日)	7:00～24:00
非取扱日	毎月第2土曜日の終日

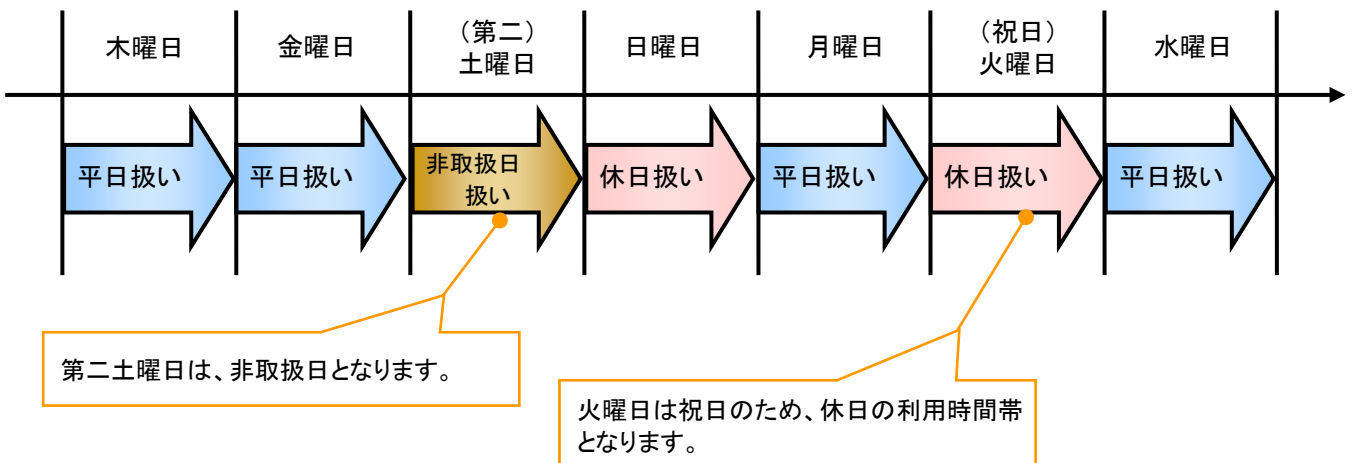


① ご注意事項

※1 : 利用時間外にユーザがログインをした場合、または既にログイン中のユーザが、利用時間外になってから操作した場合、利用時間外の旨のエラーを表示し取引はできません。

2. ご利用取扱日のイメージ

例: 火曜日が祝日の場合、火曜日は休日扱いの利用時間帯となります。



動作環境

▶ 動作環境について

電子記録債権の利用にあたり、推奨する動作環境をご案内します。

推奨環境については動作確認をしておりますが、パソコンの機種や設定において多くの差異が存在します。そのため、電子記録債権サービスの動作等に不具合や一部制約が生じる可能性があることから、完全な動作保証はできないことをご理解お願い致します。

なお、推奨環境対象外の OS やブラウザをご利用される場合は、お客様の責任においてご使用いただくようお願いいたします。

1. OS/ブラウザ

OS	ブラウザ
Windows8.1	InternetExplorer11.0
Windows10	InternetExplorer11.0、Microsoft Edge、Chrome

- ・Windows、Internet Explorer、および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Chrome は、米国 Google Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

2. その他のソフトウェア

対象	製品名
PDF 閲覧用ソフト	Adobe Acrobat Reader DC
メール閲覧用ソフト	Outlook、Windows Mail、Mozilla Thunderbird 等の S/MIME 対応メールソフト (電子署名を付与した電子メールに対応したメールソフト)

【留意事項】

1. セキュリティ上の脆弱性を防止するため、最新のセキュリティパッチの適用、ウィルス対策ソフトの導入を必ず実施するようお願いします。
2. Adobe Acrobat Reader DC のバージョンが古い場合、帳票を閲覧できない場合がありますので最新版にアップデートするようお願いします。
3. Windows8.1 Internet Explorer 11.0 は、デスクトップ画面から起動してください。
スタート画面から起動する Internet Explorer 11.0 は、推奨環境対象外です。
4. EV SSL サーバ証明書の導入に伴い、ログオン画面にアクセスした際に、アドレスバーが緑色に変化して、ホームページの運営企業名、認証局名が表示されます。
5. 携帯電話のメールアドレスは、電子署名付き電子メールが正しく表示できないため、ご指定いただけません。
6. Windows10 のデフォルトブラウザ(Microsoft Edge)および Chrome では、電子証明書の取得/更新は、本ブラウザでは実施できないため、InternetExplorer11.0 で実施してください。なお、ログイン後の各種取引については、本ブラウザでご利用いただけます。
7. Windows10 のデフォルトブラウザ(Microsoft Edge)および Chrome では、ログアウト画面等にある「閉じる」ボタンについては、ブラウザによっては正常に動作しない場合があります。(反応しない、セッションエラー画面に遷移するなど)この場合、ブラウザ機能(「×」ボタンなど)を利用して画面を閉じてください。
8. Windows8.1 および Windows10 とともに 32bit 版、64bit 版はご利用できます。

9. Mac の BootCamp を使用した Windows は、推奨環境対象外です。

申込書と提出書類

➤ 申込書と提出書類について※1

1. でんさいサービス利用申込書

でんさいサービス利用申込書にお申込内容を記入します。申込時に指定可能な申込情報は以下の通りです。

- ・融資利用、債務者利用の有無
- ・指定許可登録利用有無
- ・利用者番号（他行、本支店含め、2回目以降の申込時は必要）

2. 提出書類

- ・でんさいサービス利用申込書
- ・利用者情報の取扱いに関する同意書/反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書
- ・登記事項証明書（法人の場合）
- ・運転免許証等の写しまたは住民票（抄本）（個人事業主の場合）
- ・確定申告書（直近期）の写し（個人事業主の場合）
- ・印鑑証明書（債務者利用の場合）等

➤ 指定可能な申込項目について

区分	項目	内容	属性
利用者属性情報	債務者利用可否	債務者となり得るか否かを指定する。	アカウント単位
	発生記録債権者請求可否	発生記録請求(債権者請求方式)を行えるか否かを指定する。	アカウント単位
	融資申込可否	融資機能(割引または譲渡担保)を利用するか否かを指定する。 ※利用する場合、「割引および譲渡担保」「割引のみ」「譲渡担保のみ」を選択できる	アカウント単位
指定許可登録情報	発生記録(債務者請求方式)利用有無	でんさいネットの発生記録(債務者請求方式)指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	発生記録(債権者請求方式)利用有無	でんさいネットの発生記録(債権者請求方式)指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	譲渡記録利用有無	でんさいネットの譲渡記録指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	保証記録利用有無	でんさいネットの保証記録指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位

手数料

➤ 手数料について

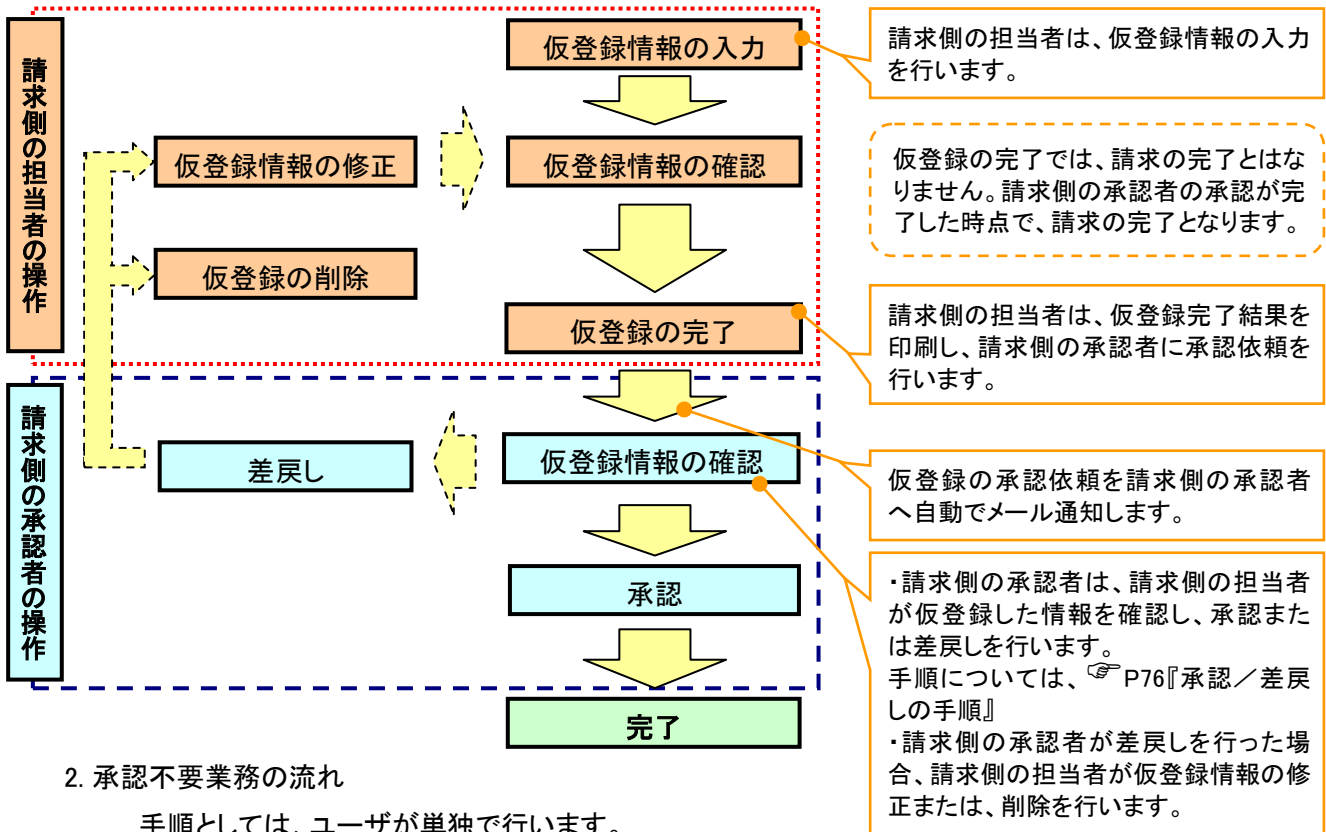
取引の流れ

- 電子記録債権取引の流れには、1.承認対象業務、2.承認不要業務と、3.承諾対象業務の3種類があります。
- 承認対象業務とは、請求側の担当者による仮登録と、請求側の承認者による承認の2段階の確認を経て実行する業務のことです。
- 承認不要業務とは、担当者／承認者の区別がなく、ユーザ単独で実行できる業務のことです。
- 承諾対象業務とは、承認対象業務において承認を経た後、被請求側の担当者による承諾／否認の仮登録と、被請求側の承認者による承諾／否認の承認の4段階の確認を経て実行する業務のことです。

1. 承認対象業務の流れ

手順としては請求側の担当者が仮登録を行い、その後、請求側の承認者が仮登録内容の承認を行います。

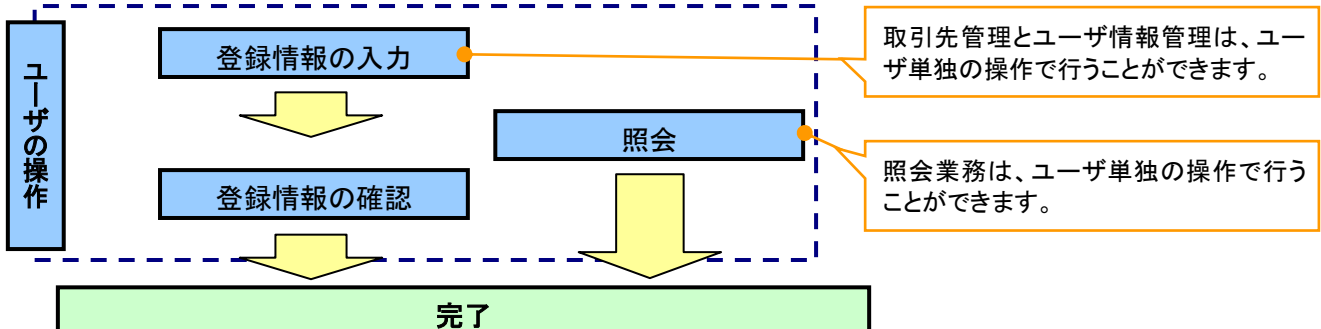
記録請求・融資申込(割引申込、譲渡担保申込)・その他請求・管理業務(指定許可管理)が、承認対象業務に該当します。



2. 承認不要業務の流れ

手順としては、ユーザが単独で行います。

債権情報照会(開示)・融資申込(照会)・管理業務(取引履歴照会、操作履歴照会、取引先管理、利用者情報照会、ユーザ情報管理)は承認不要業務に該当します。



3. 承諾対象業務の流れ

手順としては承認対象業務の承認を経た後、被請求者側の担当者が仮登録を行い、その後、被請求者側の承認者が仮登録内容の承認を行います。
債権発生請求(債権者請求)・変更記録・保証記録・支払等記録(支払を行ったことによる記録請求)が、承諾対象業務に該当します。

